

## 平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立保健医療科学院運営経費		担当部局庁	国立保健医療科学院		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	総務部会計課		課長 矢作 弘			
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立保健医療科学院の研究業務及び調査研究事業並びに研究業務に使用する特殊施設(機器分析室)の運営を行うことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	以下の事業を行う。 研究調査を行う 年報作成 研究倫理審査委員会を開催 特殊施設(機器分析室)の管理運営								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	/						
		繰越し等	/						
		計	6	7	6	5	5		
	執行額	6	6	4	/				
	執行率(%)	100.0%	85.7%	66.7%	/				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)		
	国立保健医療科学院の運営に関する経費のため成果等の設定は困難		成果実績	—	—	—	—		
			達成度	%	—	—	—	/	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込		
	研究倫理審査委員会の開催 年報作成部数:100部		活動実績 (当初見込み)	回	—	5	3 (3)	—	
			部	—	100	100 (100)	( — )		
単位当たりコスト	36,480(円/回)		算出根拠	研究倫理審査委員会開催費用/開催回数					
	1,260(円/部)			年報作成費用/作成部数					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	1.5	1.5						
	職員旅費	0.8	0.8						
	委員等旅費	0.08	0.08						
	庁費	2.6	2.6						
	試験研究費	0.5	0.5						
	計	5.4	5.4						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	100万円以下の役務のため少額随意契約とした。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>科学院における試験研究にかかる運営に必要となる雑役務費等に支出している。  今後も、試験研究の運営に必要な契約を行いながら、更なる見直しを行い経費削減に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>国立保健医療科学院の研究業務に使用する特殊施設の運営等に必要経費であるが、22年度は特殊事情により不用額が生じているが、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国立保健医療科学院  
4百万円

〔 国立保健医療科学院運営経費 〕

【一般競争】

A. 民間企業(1件)  
1百万円

〔 一般廃棄物収集運搬業務請負 〕

【随意契約】

B. 民間企業(14件)  
1百万円

〔 産業廃棄物(廃液)収集運搬業務請負 〕

うち事務費  
2百万円

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.日本興業(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務	一般産業廃棄物収集運搬	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本興業(株)	一般産業廃棄物収集運搬業務	1	1	95.1
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境テコム	産業廃棄物(廃液)収集運搬業務請負等	0.68	随意契約	
2	(株)まほろば	年報印刷	0.12	随意契約	
3	大和タクシー(有)	タクシー利用料	0.09	随意契約	
4	(株)翻訳センター	英文和訳等	0.09	随意契約	
5	(株)エアクレーレン	和文英訳等	0.08	随意契約	
6	エヌ・エイ・アイ(株)	論文校閲	0.06	随意契約	
7	日本興業(株)	廃棄物(粗大ゴミ・家電)収集運搬処理業務	0.06	随意契約	
8	(株)篠原出版新社	雑誌「医学教育」41巻3号超過頁料	0.03	随意契約	
9	(株)ドルフィン	英文校閲	0.03	随意契約	
10	(株)リバーズ	感染性廃棄物収集運搬業務請負	0.03	随意契約	